

該当箇所	意見テーマ	意見要旨	市の考え方
はじめに 第1章 背景及び 位置づけ p1 ~5	図書館整備の趣旨	コンパクトシティの重要拠点とし、「まちなか図書館」があることで、中心市街地に住みたくなるような施設にしてもらいたい。	まちなか図書館（仮称）（以下、「まちなか図書館」という。）の整備は、コンパクトシティの実現を図る第2期豊橋市中心市街地活性化基本計画の事業の一つとして位置付けられており、中心市街地のステイタスを向上させ、「住んでみたくなる」「住み続けたくなる」とよはしの象徴となることを目指しています。
	再開発ビル内への図書館整備について	新しい図書館が作りたいのか、駅前活性化をしたいのか。	再開発ビル内へのまちなか図書館の整備は、豊橋市の方針である駅前への図書館整備と中心市街地のにぎわい創出の両方が図られることから決定したものです。また、図書館以外の公共施設の導入も検討しましたが、幅広い年齢層の方が利用する施設であり、繰り返し利用する施設であることから、多くの集客効果が見込める等の理由により、図書館の導入を決定したものです。
	整備する図書館、駐車場の規模や八方美人的なコンセプトでは、まちなかのにぎわい創出効果に疑問がある。スポーツジム・イベントホール等、図書館以外の利用方法を検討すべきではないか。		
		「民」がやるべきものであり、「公」が民間の計画に乗せられている安易な計画にしか見えない。	参考に聞きおきます。
		<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか図書館には賛成だが、駅から遠い。駅からの自由通路が伸びれば問題ない。 ・最適事業地でない。駅からの地下道を延長して、傘なしで出入りできるようにしてほしい。 ・付近の地下道を含め、明るくきれいな演出をしないと人が集まり回遊しない。 	現在、そのような予定はありませんが、駅から歩きやすい歩行空間の整備を検討していきたいと考えています。
		計画に関する調査やシュミレーション結果について知りたい。	一定の調査やシュミレーションについては実施していますが、現在公表できる段階ではありません。
		計画を白紙に戻し、「豊橋の図書館のこれから」についてもっと意見募集をするべきではないか。	現在の計画を進めていく考えです。
		「まちなか」にある図書館はどうあるべきかという観点から考えてほしい。	現在その様な観点で事業を推進しています。
		市民と共につくりあげた図書館として、未来の市民に誇れるものにして欲しい。	

該当箇所	意見テーマ	意見要旨	市の考え方
第3章 基本理念、基本方針	p20 基本理念	生涯学習の拠点としての再認識と新しい図書館の役割を求め、発信する場としての図書館整備に市の担当職員の協働を求めます。	基本理念を「情報や『知』に触れ、人と出会い「交流」し、自らの世界を広げ創造する人を育て」る拠点とし、学びの拠点と考えています。 さらに、人材の育成が次代の豊橋のまちづくりに繋がる図書館となるよう目指します。
	p20. 21 基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設による集客ではなく、文化的で市民の誇りとなる図書館の魅力による集客で、より良い図書館として欲しい。 ・コンセプトは、買い物ついでに寄れる図書館。 	再開発エリアの商業施設等との連携は、まちなか図書館の魅力を向上させる方策の一つと考えており、「新たな世界の発見」、「人との出会い、交流」、「気軽に立ち寄り、居心地が良い」ことが、まちなか図書館の魅力となるよう基本方針で定めています。その具体的な内容はこれから検討していくこととしています。
		子どもづれは他の施設で対応するなど、既存の図書館と役割分担し、まちなか図書館の特徴として「大人のための図書館」に特化し、ビジネス支援を中心とする図書館、まちなかに居住する人、郊外の通学生を対象とした落ち着いた集中できる図書館を目指してほしい。	市内外の人々がアクセスしやすい立地であるため、時間帯や利用者層の違いを意識したサービスの提供を図ったり、ゾーニング等の工夫を行うことにより、各々のスタイルで良質な時間が過ごせる図書館を目指すこととしています。
		広く市民にひらかれた、幅広い年齢層、様々な立場の市民が利用できる施設の整備。	
		<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな意見や要望を採り入れすぎてコンセプトがはっきりしない施設にならないようにしてもらいたい。 ・「まちなか図書館」のアピールポイントを知りたい。 	情報の収集、提供を中心とした従来型の図書館は、目的をもった利用者が当該目的の情報を得られる場所としての役割を重視していますが、まちなか図書館は、さまざまな情報を利用者が選び、生かすための積極的な働きかけを行うことで図書館利用者が自らの世界を広げ、創造できることを目指しています。それにより、既に目的を持った方にも、気軽に立ち寄られた方にも図書館が「役に立つ」場所、「訪れてみたく」なる場所になると考えています。

該当箇所	意見テーマ	意見要旨	市の考え方
第4章 施設規模等	p24 導入予定位置 (設置階)	施設に一体感が生まれるため。ワンフロア 4,000平米にしてほしい。	商業施設等と連携し、図書館との相乗効果を発揮するために、商業施設等と図書館を同じフロアの中に設置したいと考えています。なお、現在考えられている再開発ビルのプランでは、ワンフロア4,000m ² は確保できないものです。
	p24	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物を考え、(2～3階に設置する)市の案が良い。 ・駅から自由連絡通路が(再開発の)計画地までのびれば、2、3階でも良いと思う。のびなければ、1、2階の方が良いかもしれない。 	駅から自由連絡通路の延伸は、現在考えていません。
	p24	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスの容易さを考慮し、1階への図書館の一部導入を希望する。 ・便利性、快適さの観点から、図書館が1階でないことに反対します。 ・高齢者や人が多い場所が苦手な人を考慮し、図書館を一階に、商業施設を上階に導入して欲しい。 ・誰でも使いやすいように1階に図書館を作って欲しいです。 ・足が不自由なので、1階に図書館を整備して欲しい。 ・図書館を1階、2階の使いやすいところに導入して欲しい。 ・図書館をふらっと入れる1階と2階に導入し、中には雑貨屋さんや喫茶店を入れてほしい。 ・図書館は1階、2階に導入し、1階にはカフェやキッズスペース、騒げる場所を設置して欲しい。2階は静かに勉強や読書ができるスペースを整備して、集まりやすい図書館にして欲しい。 ・高齢者や小さな子供連れ、ハンディを持たれている方にも利用しやすい1、2階に整備して欲しい。 	当該再開発エリアは中心市街地の新たな魅力拠点となるよう考えています。したがって、魅力的な商業等の導入について再開発準備組合に促しているところです。基本的に商業等は1階を含む低層階の入居が前提となります。しかしながら、図書館の利便性、アクセスの容易さについての重要性も認識しており、施設整備の基本的考え方に記載のとおり、「気軽に入りやすい施設」「誰もが安心・安全に利用できる施設」として整備する考えです。
	p26 目標利用者数	<ul style="list-style-type: none"> ・目標利用者数の根拠が知りたい。 ・「まちなか図書館」建設による、中央図書館やその他の豊橋市全体の図書館利用者の動向についての予想が知りたい。 	目標利用者数は、立地の良さ、中央図書館と役割を分担することを考慮し、中央図書館の利用者を上回る数を目標と設定しています。また、まちなか図書館は、本市の図書館ネットワークの中で、特色ある図書館として整備を行います。さらに、これまであまり図書館を利用してこなかった方々については、気軽に入りやすい居心地の良い図書館として、新たな利用者になっていただけるよう取り組んでいきます。

該当箇所	意見テーマ	意見要旨	市の考え方
第5章 サービス計画	p28 飲食について	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み物は良いが、食べながら本を読むのは図書館以外の商業施設を利用した方が周辺の活性化につながる。 ・飲食ゾーンは本を読むスペースとの独立を望みます。図書館の本は公共の大切なものだと教えてください。 ・周りに飲食店が多いまちなかで、図書館内に飲食店を整備する必要はあるのか。酒類の提供も考えられているが、酒場利用者の図書館利用を見込んでいるのか。 	サービス例は、可能性として記載したものであり、今後、気軽に立ち寄れ、心落ち着く居場所を追求するためのサービスを検討していくこととしています。
第6章 施設整備計画	p29 施設整備の考え方 (気軽に入りやすい施設)	建物外部の1階部分から自然な動線で図書館に入ることができるようなアプローチを工夫して欲しい。	図書館へのアプローチを容易にする動線の確保は非常に大切と考えています。
p29 誰もが安心・安全に利用できる施設	誰もが安心・安全に利用できる施設	駅前に図書館ができることは嬉しいことであり、図書館が気軽に安全に利用できる場所になるよう望む。	基本方針において、誰もが気軽に立ち寄れて、自分のスタイルで良質な時間を過ごせる、心やすらぐ図書館を目指すとし、また、施設整備の考えの中で、子どもから高齢者、障がい者などの利用を考慮し、誰もが安心安全に利用できる施設を目指していくこととしています。
p29	誰もが安心・安全に利用できる施設	(基本計画案 p29の)「子どもから高齢者、障がい者などの利用を考慮し」の一文に非日本語話者も加えてほしい(館外の表示に外国語を加え、外国語に対応できるスタッフ、蔵書、言語切り替えできる情報端末を希望)	「子どもから高齢者、障がい者、 <u>外国人</u> などの利用を考慮し、誰もが安全に安心して利用できる施設とします。」と修正します。具体的な内容については、実施計画の中で検討していくこととしています。
p29 ~31	ゾーニング	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと一緒に気兼ねなく過ごせるよう、落ち着いて過ごしたい利用者とゾーンの分離をして欲しい。 ・さまざまなゾーンを作り、市民一人ひとりに合わせた図書館計画はとても素敵なものであり実現して欲しい。 	利用者各々のスタイルで良質な時間を過ごせる居心地の良い、快適な施設とするため、静と動の効果的なゾーニングを図っていくこととしています。
		グローアップゾーンは別途施設(こども未来館、学校図書館など)で対処するのが良い。	まちなか図書館は、親子、学生の来館も想定し、こども未来館や学校図書館などと役割を分担しながら、グローアップゾーンの整備やサービスの検討を進めていくこととしています。

該当箇所	意見テーマ	意見要旨	市の考え方	
その他	図書館整備の進め方について	真摯に意見を聞いて新しい図書館に是非とり入れて欲しい。	今後も折に触れ、ご意見を伺う機会を積極的に設けて、参考にさせていただきます。	
		基本設計の段階に入る27年度以降においても、市民が意見を活発に述べることのできる公開された場をつくり、広く市民の声が反映された公共図書館づくりを希望する。		
		市民及び市民団体との協働による計画検討の場の整備		
		図書館に関する学習会、講演会等の実施による市民のための図書館像の検討。		
		情報の提示について	市の所有地の範囲内だけでも民（間）主体でなく、市が主導して住民の意向を生かしてほしい。	図書館部分は市主導で、様々なご意見を聞きながら整備することとしています。
			再開発組合と市民及び市民団体との協議の場の設定	必要に応じて、そのような機会を設けることを考えています。
	図書館の基本設計及び実施設計スタッフと市民及び市民団体との協議の場の設定		原則、市の委託業者ですので考えておりません。	
	「まちなか図書館」にかかる建設総経費、年間の維持費等、「費用対効果」の検討結果について知りたい。	公表できるものにつきましては、節目節目で説明する機会を設けていきたいと考えております。		

該当箇所	意見テーマ	意見要旨	市の考え方
その他	図書館行政について	<ul style="list-style-type: none"> ・各地区、校区市民館の図書館サービスを充実させ、利用者の拡大を図って欲しい。 ・地区・校区市民館の配本等の充実を求める。 ・駅ビルの中に図書館の本の貸出、受け取りができるサービスが欲しい。 ・人気作家の出版物がなかなか借りられない問題は解決されるのか。 ・ライフポートとよはしの男女共同参画センターに設置してある図書室の情報など、市民に公開している図書についてすべてがまちなか図書館で検索できるようにしてほしい。 ・ここにこで自動貸出機を先行導入し、その効果と問題点を洗い出してはどうか。 (効果指標：貸出し率、図書館への来室人数、館内活動での図書の利用率) ・図書館利用者の減少に対する問題点や対処、長期的な図書館行政計画について示されていない。 	豊橋市図書館全体の方針に関する提案意見につきましては、今後の図書館運営を検討する中で整理していくこととしています。
	再開発ビルについて	<p>再開発ビルの住民用の車の出入り口と商業等施設の搬入口とは別々に設けた方が良いのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか図書館の年間（利用者）50～70万人の達成のため、（再開発ビルの）東棟と西棟の商業の利用者（お客様）の誘導が必要だと思ふ。 ・再開発ビル内にサドベリースクールの教育理念に則ったスクールの開校を希望します。 ・商業フロアの核テナントを提案「ヨドバシカメラ・ファストキッチン・カフェドクリエ・遠鉄ストア・ドンキホーテ等」 	再開発ビルに関する提案意見につきましては、再開発準備組合と意見交換を行う中で、必要があれば伝えていくこととしています。

該当箇所	意見テーマ	意見要旨	市の考え方
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館はこどもの未来をつくる大切な場所であるため、ここにこの中に図書館を作る。 ・ここにこの1、2階に改築してほしい。 	<p>こども未来館には、現在、中央図書館とネットワークで繋がった図書室が整備されていますが、まちなか図書館との連携、役割分担について今後検討することとしています。なお、こども未来館を改築する予定は、現在ありません。</p>
	まちなか広場について	<p>はざま広場は古いイメージである。維持管理を考え広場は広くとらず、芝生ひろばに。狭くとも美しい公園にしてほしい。</p>	<p>まちなか広場（仮称）は、現在の開発ビル、名豊ビル等と狭間児童公園を一体的に整備することで、再開発エリア全体の魅力を向上し、また、中心市街地の回遊の拠点となるよう整備を行います。本計画は広場についての考え方を示すものではなく、まちなか広場（仮称）の計画につきましても、この3月に、縦覧等の諸手続きを経て、豊橋市が都市計画決定を行い、広場の形、面積について決定していますが、整備に関する詳細については、今後、市民や専門家などの意見を参考に検討し、来年度その方針を定める基本計画の策定を予定しています。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・はざま広場を広く残してほしい。 ・広場がはざま公園の半分以下になることに反対します。 ・はざま広場を子どもたちのために残してほしい。 ・はざま公園を残して、緑を少しでも残してください。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・四季折々の花木や、夏は日除けになる樹木等はそのまま残してほしい。 ・図書館南側の芝生広場へは、ココニコ等のなだらかにつながっている広場のよう、テラスから直接行けるようにしてほしい。 ・木を切らないで欲しい。 ・建物南側（水上ビル側）に、既存の樹木（大樹）を生かした緑豊かな緑地の整備を希望する。 ・多様な市民利用のために、広場とのつながりのある、緑あふれる施設整備。 	
まちづくりの考え方について	<p>駅前が活性化することは喜ばしいことだが、新しい豊橋市の全体のあり方を根本的に考えてほしい。</p>	<p>豊橋市では、自主的かつ総合的なまちづくりを計画的に進めるため、まちづくりの長期的な目標から具体的な事業計画までを明らかにする第5次豊橋市総合計画を策定しており、その計画に基づきまちづくりを進めています。さらに、国のまち・ひと・しごと創生「総合戦略」に合わせ、豊橋市の政策目標・施策を策定する地方版総合戦略プランの検討も始めています。</p>	

<今後の検討事項に対する提案について>

下記、ご意見について、サービス計画、施設整備計画、管理運営計画に関する具体的な提案につきましては、貴重な意見として今後実施計画を検討する際に、参考にさせていただきます。

該当箇所	意見テーマ	意見要旨
第4章 施設規模	交通手段に関する利用促進策について	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク500の利用者に3時間分の無料駐車券を配布するとか、公共交通機関を使って来館するシニアには帰りの交通費を負担するなどの利用促進策を講じなければ、1日平均1,400~2,000人の利用者を見込めず、中心市街地のにぎわい創出、活性化につながらないのではないかと。 ・直通のバスやタクシー等の交通機関を充実させ、利用者には図書館や商業施設での特典をつけてもよいのでは。 ・まちなかの施設と図書館を100円位の料金の循環バスなどで繋いで欲しい。 ・施設間や商業施設・店舗間の移動手段として、レンタサイクルや超小型モビリティのカーシェアリング等の導入を希望する。
	駐車場・駐輪場	<ul style="list-style-type: none"> ・もぐらパークの利用も図書館利用の場合には50%割引や駐輪場を1回100円とするなど、民間と連動した活用を希望したい。お金をかけずに知恵を出し、まちなかが潤い、行政だけが負荷を負うシステムにしてはいけないと思う。 ・自動車を置けるスペースを確保して欲しい。 ・駐車が有料では、図書館にゆっくり長時間居ることができない。 ・駐車場の無料化を希望する。 ・図書館に来た人が自転車で回れるよう、まちの中にも駐輪スペースを整備して欲しい。 ・足が悪い人が危険なため、地下駐輪場には、エレベーターを設置して欲しい。
第5章 サービス計画	図書館サービスについて	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害などの読書困難者に対して、案内人や対面朗読者などの、人的配置による図書館サービスの充実を希望する。 ・「明生会館」と連携を図り、読書困難者に対する図書サービスの構築を希望する。 ・観光ガイドなどを充実させ、市外からの来訪者が豊橋市の事柄を学べる施設にして欲しい。 ・インターネット検索機能の充実を希望PCでのネット検索機能が中央図書館は数台なのでこれを10台位にして欲しい。機器保守整備代金として、1時間150円程度（中学生以下半額）とし、時間制限もして欲しい。 ・新しい媒体を駆使した情報収集の手助けをする施設や職員の配置をして欲しい。 ・利用者が感情（哀しみ・楽しみ）を表現・消化するための様々な情報や提案を受け取ることができるブースの設置。 ・通信大学のサテライトのような教育機能と、厚生労働省のジョブカフェのような職業インフォメーション機能を関連組織と連携して強化して欲しい。 ・各種資格取得の講習会や漢字検定、英語検定などの試験会場としても運用し、収益を求めても良いのでは。 ・大人を対象としたポイント制の導入してはどうか（動植物公園の入場券プレゼント⇒結果として、市は一緒に行く子ども、パートナーの入場券料金、駐車場料金を得られる） ・図書館の隅っこに、商店街での食事場所や音楽ショップ、書店の広告を掲示して欲しい。図書館利用と商店街の利用をリンクさせるようなサービスを提供して欲しい。 ・まちなか図書館はできてほしい。きれいで本の選びやすい図書館を望む。

該当箇所	意見テーマ	意見要旨
第6章 施設整備	施設整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・仕切りのついた自習机を配備して欲しい。 ・床で本を広げて読みたい。 ・施設整備にあたっては、再生可能エネルギーの導入に努めて欲しい。 ・点字ブロックの整備、音声案内など、視覚障害者への施設整備の配慮を希望する。 ・Wi-Fi環境を整えてほしい。 ・トイレは同じフロア内ではなく、室外に独立させ、防犯はしっかりする。 ・玄関は、駅前大通に面した1階に、目立つように（明るい雰囲気の上品なデザインで）設置してほしい。 ・ベビーカーの親子や杖をつく高齢者に優しいスロープ等のアプローチを工夫して欲しい。 ・高齢者やベビーカー等に配慮し、公園から図書館となる2階までスロープで繋いで欲しい。 ・デジタルサイネージ導入は先進的だと思うが、長期にわたるサポートを受けられるか、代替品をすぐに調達可能な汎用品であることを条件に検討してほしい。また、デジタルサイネージと同じ内容を携帯電話などで見られる仕組みがほしい ・人が多く集う場所へのデジタルサイネージの導入 ・高校生の学習の場にならないようにして欲しい。図書館外で学習室を設けてほしい。 ・骨董品、絵画、写真、模型等の立体物を展示するケースを配置してはどうか。また、展示ケースの有料貸出しを行うことで、市民の表現活動を引きだせるかもしれない。
	空間について	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく、開放的で、居心地の良い空間としてほしい（明るい照明、低い木製の書架、植物の取り入れ、座り心地の良い椅子など） ・まちなか図書館はほっと一息できる場であり、出入りしやすい空間づくりがあると良い。 ・大人がゆったり過ごせる場となると良い。 ・田原図書館は、大人と児童をはっきり分けている。

該当箇所	意見テーマ	意見要旨
第7章 管理運営計画	管理運営について<運営>	<ul style="list-style-type: none"> ・まちなか図書館の出入口、2階への階段、エスカレーター、エレベーターのすべてを近くにして、そこにガードマンを常駐させて欲しい。 ・サラリーマンのために開館時間を19時～21時までにして欲しい。 ・夏休みや冬季休暇の時期だけ朝の開館時間を早めるフレキシブルで効率的な運用にしてほしい。 ・開館時間の延長、開館日の増加を望む。 ・開館時間は、朝7時から夜9時まで、年中無休を想定し、運営を民間に委託した方が利用者の役に立つ魅力的なサービスを期待できる ・図書館流通センター丸投げすべき。コストは公務員の半以下で、効果は年中無休、朝7時から夜11時まで営業可能。 ・図書館の専門知識を有する専任館長及び司書と市民や市民団体による企画、運営、それらをサポートする公僕、市役所職員との協働によって、市民の活気あふれた、顔の見える図書館。
	管理運営について<体制>	<ul style="list-style-type: none"> ・こんにちは、ありがとうと笑顔で言える人を職員にしてください。 ・仕事に対する熱意を持ち続けて欲しいため、正規職員の配置を求める。 ・市民の「知る権利」を保障することは重要であり、司書という専門職を大切にして欲しい。 ・民間人の公募館長としてほしい。公募で優秀な人材を招へいすべき。 ・市長直属か市長部局内に置き、産業政策として知識資本主義を整備すべき。 ・図書館設置後の運用のソフトとして、市民が利用したい、したくなるシステムが重要。民活、まちなか活性委員会と協力してはどうか。 ・計画初期の段階から図書館専任スタッフの公募。
その他	計画の進め方について	<p>(図書館の) 3パターン程度のコンセプト案を用意し、2015年11月頃には、初期費用と運営費用の試算、採算性を公開し、市民に意見を募集してほしい。基本計画策定時のアンケートはサンプル数が少ないため、5倍程度の人数に再度アンケートしてほしい。</p>
	名称について	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の名前は、ハザマ図書館という名称にして欲しい。